２０１５年３月期
決算説明会資料

２０１５年５月１５日（金）

東洋水産株式会社

URL　http://www.maruchan.co.jp/

決算説明会資料　目次

１．２０１５年3月期（前期）　連結業績　　P．３

２．２０１６年3月期　連結業績予想　　P．８
　　各事業別方針

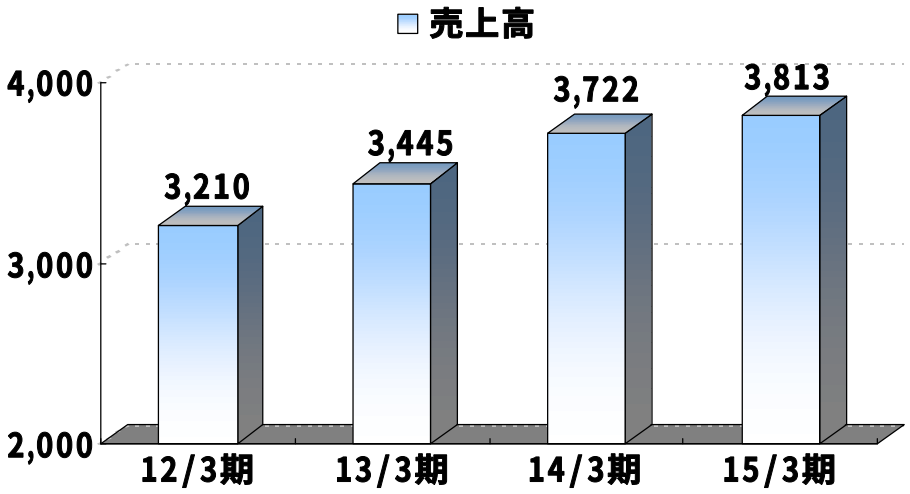
３．企業価値向上に向けて　　P.２１

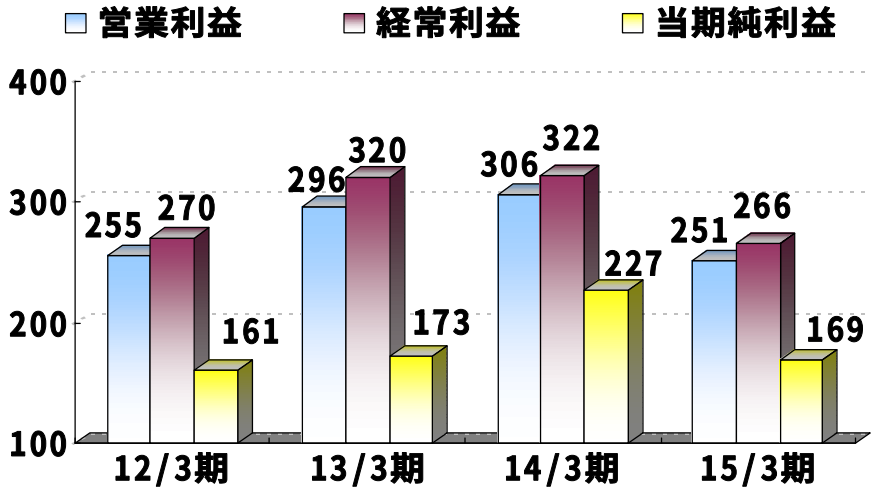
４．補足資料　　P.３１

１．２０１５年3月期（前期） 連結業績

2015年3月期 連結業績　総括

決　算　年　月（億円）	14/3期	15/3期	前年比	
			金額	比率
売上高	3,722	3,813	＋91	102％
営業利益	306	251	△55	82％
営業利益率	8.2％	6.6％		
経常利益	322	266	△56	83％
当期純利益	227	169	△58	74％
為替レート（ＵＳＤ）	102.88	120.15		





2015年3月期 売上高の状況

決　算　年　月（億円）	14/3期	15/3期	前年差	前年比
連　結　売　上　高	3,722	3,813	＋91	102％
水　産　食　品　事　業	335	345	＋10	103％
海　外　即　席　麺　事　業	754	860	＋106	114％
（百万ドル）	733	716	△17	98％
国　内　即　席　麺　事　業	1,248	1,174	△74	94％
低　温　食　品　事　業	640	669	＋29	105％
加　工　食　品　事　業	185	183	△2	99％
冷　蔵　事　業	153	156	＋3	102％
そ　の　他	409	426	＋17	104％

水　産　食　品　事　業	主要魚種である鮭鱒・魚卵等の付加価値商品開発と拡売
海　外　即　席　麺　事　業	アメリカは物量回復に遅れ。メキシコは堅調に推移
国　内　即　席　麺　事　業	カップ麺は幅広い商品展開・販促で前年確保も、袋麺が落ち込み
低　温　食　品　事　業	主力「3食焼そば」中心に生麺好調、冷凍食品も増収
加　工　食　品　事　業	無菌米飯、フリーズドライ商品が堅調も、全体では微減
冷　蔵　事　業	4月から稼働の東扇島新冷蔵庫が貢献
そ　の　他	弁当・惣菜事業で新工場が稼働

2015年3月期 営業利益の状況

決算年月（億円）	14/3期	15/3期	前年差	前年比
連結営業利益	**306**	**251**	**△55**	**82%**
水産食品事業	△2	△8	△6	↓
海外即席麺事業	131	122	△9	93%
（百万ドル）	128	101	△27	79%
国内即席麺事業	121	92	△29	76%
低温食品事業	33	35	+2	106%
加工食品事業	2	5	+3	237%
冷蔵事業	12	12	0	99%
その他	13	1	△12	4%
（調整額）	△6	△8	△2	↓

水産食品事業	販売競争激化。原料価格高騰分を価格転嫁出来ず
海外即席麺事業	販売促進費の増加とテキサス工場稼働による減価償却費負担増
国内即席麺事業	袋麺の売上高減少と、原材料費・物流費等の高騰
低温食品事業	原材料費高騰も増収によりカバー
加工食品事業	主力の米飯事業における原料米価格が落ち着く
冷蔵事業	東扇島新冷蔵庫の減価償却費負担増
その他	弁当・惣菜事業の新工場稼働による減価償却費負担増

2015年3月期　事業別利益増減要因

(単位:億円)

2015年3月期	国内即席麺			低温食品			海外即席麺		
	14/3	15/3	金額	14/3	15/3	金額	14/3	15/3	金額
売上高	1,248	1,174	△ 74	640	669	29	733	716	△ 17
営業利益	121	92	△ 29	33	35	2	128	101	△ 27

(単位:億円)　　(単位:百万ﾄﾞﾙ)

利益増減要因	国内即席麺			低温食品			海外即席麺		
	上半期	下半期	年間	上半期	下半期	年間	上半期	下半期	年間
売上高	△ 8	△ 13	△ 21	4	4	8	△ 5	△ 4	△ 9
原材料	△ 11	△ 10	△ 21	△ 4	△ 2	△ 6	3	3	6
製造経費	3	4	7	0	0	0	△ 15	△ 10	△ 25
販売費･一般管理費	2	4	6	1	△ 1	0	1	0	1
合　計	△ 14	△ 15	△ 29	1	1	2	△ 16	△ 11	△ 27

２．２０１６年3月期(当期)連結業績予想
各事業別方針

・連結業績予想　Ｐ９
・国内即席麺　Ｐ１０～
・低温食品　Ｐ１３～
・海外即席麺　Ｐ１６～
・加工食品　Ｐ１８
・水産食品　Ｐ１９
・冷蔵　Ｐ２０

２０１６年3月期　連結業績予想

決　算　年　月（億円）	15/3期	16/3期	前年比	
			金額	比率
売上高	3,813	4,000	+187	105％
営業利益	251	280	+29	112％
営業利益率	6.6％	7.0％		
経常利益	266	290	+24	109％
当期純利益	169	180	+11	107％
為替レート（ＵＳＤ）	120.15	120.00		

設備投資額（支払ベース）	116	200
減価償却費	116	113

２０１６年3月期　「国内即席麺」について

テーマ【マルちゃん正麺の育成と、新価格の浸透】

国内即席（億円）	15/3	16/3	前年比・差	
			金額	率
売上高	1,174	1,244	70	106％
袋麺	257	259	2	101％
カップ麺	917	985	68	107％
営業利益	92	101	9	109％
営業利益率	7.8％	8.1％	–	＋0.3％

利益増減要因	影響額
売上高による影響	＋４８
原材料費による影響	△１４
製造原価による影響	＋１
販売費・一般管理費による影響	△２６
合　計	＋９

◇「マルちゃん正麺」の育成　：ロングセラー商品へブランド強化

◇ 新価格の浸透　　：主力ブランドの販促強化

　　コラボ企画など需要喚起施策展開強化

２０１６年3月期　「国内即席麺」について

☆「マルちゃん正麺」ファンの育成・囲い込み

マルちゃん 正麺（せいめん）
×
ABC Cooking Studio

「冷し中華レシピ選手権」2015/4～

☆話題性、新規性商品へのチャレンジ

希望小売価格275円

6/1　新発売（数量限定）

２０１６年3月期　「国内即席麺」について

☆「地域密着展開強化」

各地区祭りとのタイアップ

北陸新幹線開業記念

広島カープコラボ

☆「話題性」による需要刺激

☆新規需要開拓商品の展開

２０１６年3月期　「低温食品」について

テーマ【市場縮小に負けない、商品施策とプロモーション展開】

低温食品（億円/％）	15/3	16/3	前年比・差	
			金額	率
売上高	669	703	34	105％
売上高前年比 生麺	＋3％	＋5％		
営業利益	35	37	2	104％
営業利益率	5.3％	5.2％	－	△0.1％

利益増減要因	影響額
売上高による影響	＋８
原材料費による影響	△2
製造原価による影響	0
販売費・一般管理費による影響	△4
合　計	＋２

◇<u>マルちゃん焼そば４０周年</u>：１１月に向け、継続的なプロモーション実施

◇<u>カテゴリー毎の強化</u>　：ラーメン類、和風麺で重点施策を展開

新ブランドの育成

◇<u>原材料価格の上昇への対応</u>：生麺・チルド・冷凍の一部商品を4/1～価格改定

アイテムの見直し・集約化

２０１６年3月期　「低温食品」について

☆マルちゃん焼そば40周年

☆涼味麺早仕掛けプロモーション

２０１６年3月期　「低温食品」について

☆和風カテゴリー強化

☆新ブランドの育成

リニューアル

海外即席麺事業の市場環境

☆消費の2極化

・フードスタンプ削減（2013年10月～）

・オバマケア導入による健康保険料負担増

→可処分所得減→基礎食材への流れ

・好景気を享受

→所得増→外食への流れ

☆食の多様化

・健康食ブーム

→オーガニック、ノングルテン食品増加

⇒加工食品メーカー苦戦。特売スペースの争奪

２０１６年3月期　「海外即席麺」について

テーマ【市場環境変化へ対応した、商品・販促の展開】

海外即席（百万ドル）	15/3	16/3	前年比・差	
			金額	率
売上高	716	732	16	102％
営業利益	101	103	2	102％
営業利益率	14.1％	14.1％	－	±0％
販売数量前年比	合計99％	合計103％		
アメリカ	97％	103％		
メキシコ	102％	102％		

利益増減要因	影響額
売上高による影響	＋４
原材料費による影響	＋３
製造原価による影響	△4
販売費・一般管理費による影響	△1
合　計	＋２

◇<u>アメリカ</u>：量販店との取組強化の継続

商品開発・販促両面における需要喚起策の積極展開

◇<u>メキシコ</u>：引き続き安定した需要と販売を想定

袋麺・ＢＯＷＬの強化

２０１６年3月期　「加工食品」について

加工食品（億円/％）	15/3	16/3	前年比・差	
			金額	率
売上高	183	194	11	106％
営業利益	5	6	1	116％
営業利益率	2.7％	2.9％	–	+0.2％

☆時代やニーズに合わせた商品展開
- 付加価値商品
- 健康志向
- 個食対応

☆収益力強化への取組
- 原材料調達の見直し
- 商品の選択と集中

２０１６年3月期　「水産事業」について

水　　産 （億円/％）	15/3	16/3	前年比・差	
			金額	率
売　　上　　高	345	350	5	101％
営　業　利　益	△8	0	8	↑

☆付加価値商品開発の強化

・国内産を訴求した商品の拡売

・量販店・外食チェーンなど販売先への提案強化

☆在庫コントロールの徹底

・買い付け方法の見直し

・魚種の選択と集中

２０１６年3月期　「冷蔵事業」について

冷　蔵 （億円／％）	15/3	16/3	前年比・差	
			金額	率
売　上　高	156	156	0	100％
営　業　利　益	12	14	2	113％
営業利益率	7.8％	8.8％	－	＋1.0％

☆老朽化した冷蔵庫の閉鎖に伴う、庫腹減
　→物流サービスの提案による新規顧客の獲得

☆電力価格上昇・改正フロン法対策による費用増
　→固定費削減への業務改善

３．企業価値向上に向けて

企業価値向上に向けた取組

成長投資 × 資本効率の向上

☆　国内外の麺事業
☆　冷蔵事業
☆　伸長カテゴリー（米飯・ＦＤ）
☆　国内生産設備の効率性向上
☆　グループシナジー創出

☆　増配
☆　自社株買い

☆上記に加えて、更新投資は並行して実施
（償却費と同レベル想定）

過去５年の主な設備投資の実績

年度（4～3月）	名称	セグメント	投資額（百万円）
２００９	中部物流センター	冷蔵	4,600
	埼玉工場	低温	9,500
	関東工場	国内即席	19,000
２０１１	北海道工場	国内即席	6,000
２０１２	宮城東洋	水産	1,900
２０１３	テキサス工場	海外即席	16,500
２０１４	フレッシュダイナー	その他（弁当・惣菜）	2,600
	東扇島冷蔵庫	冷蔵	6,000

上記以外の更新投資を含め、約９００億円の設備投資

今後の主な投資の予定

年度（4～3月）	名称	セグメント	投資額（百万円）
２０１５	ミツワデイリー	その他（弁当・惣菜）	1,900
	シマヤ新工場	その他	1,500
	福岡冷蔵庫	冷蔵	6,600
２０１６	関西新工場	国内即席	19,700
	インド	海外即席	1,500
	ナイジェリア	海外即席	2,000

上記以外の更新投資を含め、
１５年・１６年度合計で約４５０億円の投資を予定

関西新工場

新工場建設の目的

・最新設備導入による生産の効率化・省力化

・製品の安全性と安定した品質の追求

・西日本地区の製造・物流拠点構築

新工場の概要

所在地　　：兵庫県神戸市西区
　　(神戸テクノ・ロジスティックパーク内)
敷地面積　：約6万3千㎡(約19，000坪)
設置ライン：カップ麺、袋麺
供給地区　：西日本全域
総投資額　：約197億円(予定)
竣工予定　：2016年夏

（仮）福岡アイランドシティ物流センター

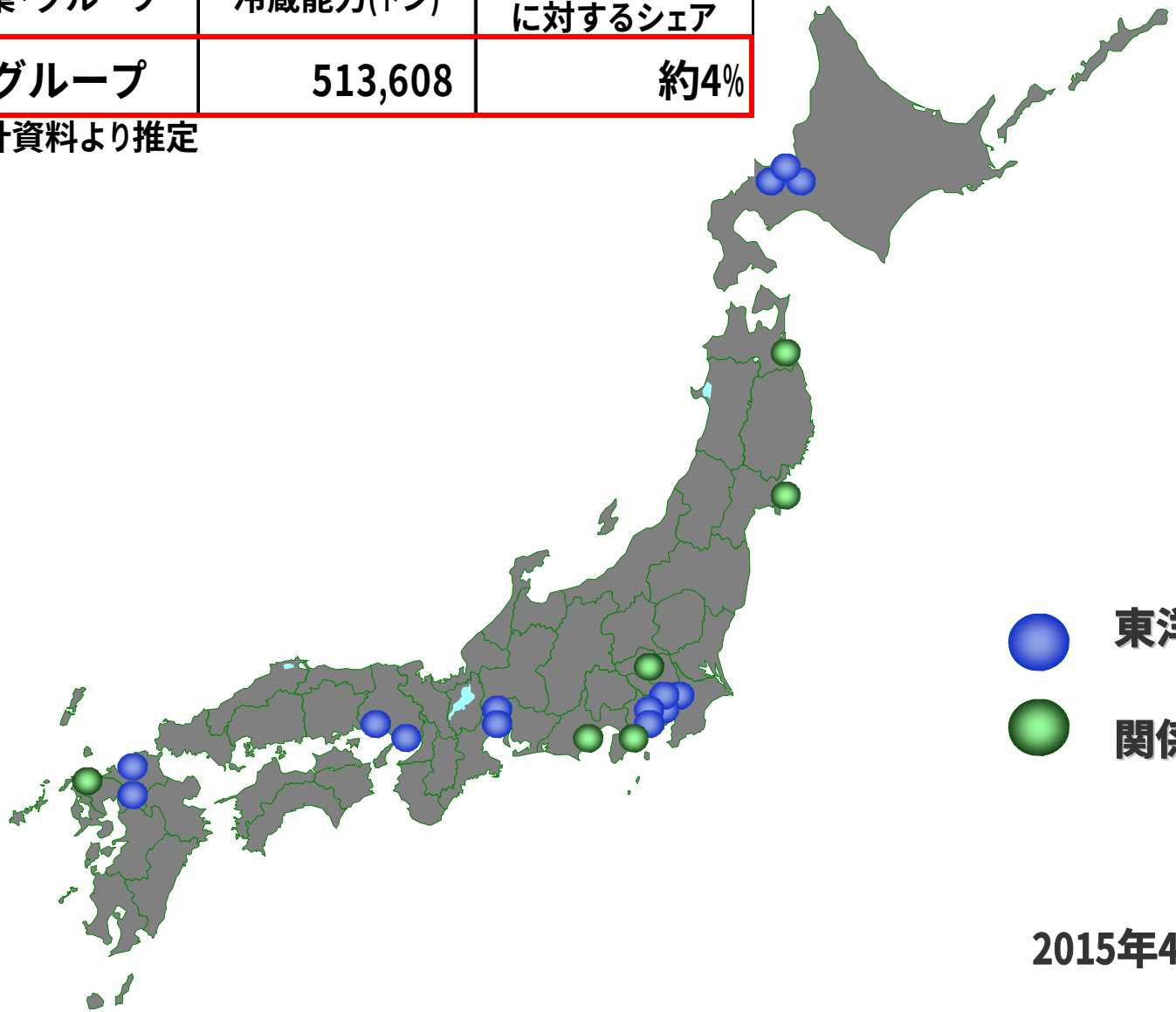
新工場の概要

所在地　　：福岡県福岡市博多区
　　（福岡アイランドシティ内）
敷地面積　：約1万8千㎡（約5，700坪）
総投資額　：約66億円
竣工予定　：2016年春

ＴＳグループ冷蔵倉庫の庫腹状況

業界順位	冷蔵倉庫企業･グループ	冷蔵能力(トン)	全国冷蔵倉庫に対するシェア
4位	東洋水産グループ	513,608	約4%

※日本冷蔵倉庫協会統計資料より推定



2015年4月現在

ミツワデイリー岡山工場

新工場の概要

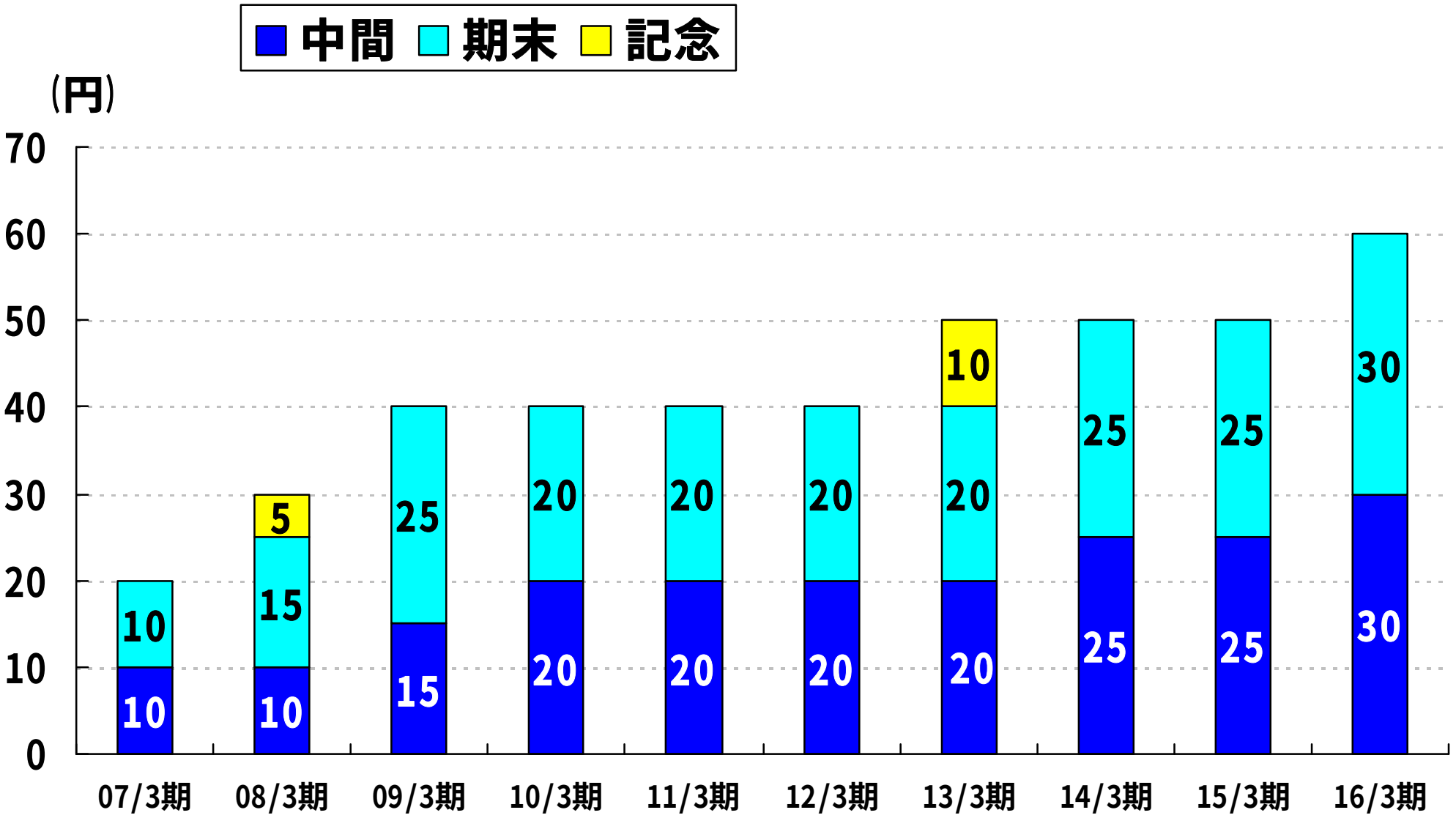
所在地　　：岡山県浅口市
敷地面積　：約1万㎡(約3，000坪)
総投資額　：約19億円
竣工　　：2015年4月

シマヤ　だしの素原料加工工場新設

新工場の概要

所在地　　：山口県周南市
敷地面積　：約3万1千㎡(約9，500坪)
総投資額　：約15億円
竣工予定　：2015年夏

２０１６年3月期　配当予想



補足資料

２０１６年3月期　連結売上高予想

決算年月（億円/前年比%）	15/3期	16/3期（予想）					
	通期	上半期		下半期		通期	
連結売上高	3,813	1,920	106%	2,080	105%	4,000	105%
水産食品事業	345	170	98%	180	105%	350	101%
海外即席麺事業	860	432	111%	447	95%	879	102%
百万ドル	716	360	101%	372	103%	732	102%
国内即席麺事業	1,174	534	105%	710	107%	1,244	106%
袋麺	257	118	102%	141	100%	259	101%
カップ麺	917	416	105%	569	109%	985	107%
低温食品事業	669	366	106%	337	104%	703	105%
加工食品事業	183	90	104%	104	108%	194	106%
冷蔵事業	156	80	101%	76	100%	156	100%
その他	426	249	110%	225	112%	474	111%

２０１６年3月期　連結営業利益予想

決算年月（億円/前年比%）	15/3期	16/3期（予想）					
	通期	上半期		下半期		通期	
連結営業利益	251	125	117%	155	106%	280	112%
水産食品事業	△8	△0	↑	1	↑	0	↑
海外即席麺事業	122	66	127%	58	83%	124	102%
百万ドル	101	55	115%	48	90%	103	102%
国内即席麺事業	92	29	95%	71	116%	101	109%
低温食品事業	35	20	104%	17	103%	37	104%
加工食品事業	5	1	75%	5	128%	6	116%
冷蔵事業	12	8	143%	6	90%	14	113%
その他	1	4	197%	1	↑	5	↑
（調整額）	△8	△2	↑	△3	↑	△5	↑

２０１６年3月期　事業別利益増減要因

(単位：億円)　　(単位：億円)　　(単位：百万ﾄﾞﾙ)

2016年3月期	国内即席麺			低温食品			海外即席麺		
	15/3	16/3	金額	15/3	16/3	金額	15/3	16/3	金額
売上高	1,174	1,244	70	669	703	34	716	732	16
営業利益	92	101	9	35	37	2	101	103	2

利益増減要因	国内即席麺			低温食品			海外即席麺		
	上半期	下半期	年間	上半期	下半期	年間	上半期	下半期	年間
売上高	23	25	48	5	3	8	1	3	4
原材料	△ 13	△ 1	△ 14	△ 1	△ 1	△ 2	7	△ 4	3
製造経費	1	0	1	0	0	0	△ 1	△ 3	△ 4
販売費･一般管理費	△ 13	△ 13	△ 26	△ 3	△ 1	△ 4	0	△ 1	△ 1
合　計	△ 2	11	9	1	1	2	7	△ 5	2

Smiles for All.

すべては、笑顔のために。

・当資料に掲載されている、東洋水産株式会社の計画、見通しや戦略など歴史的事実でないものは将来の業績に対しての見通しであり、現時点で入手できる情報から得られた東洋水産株式会社の経営者の判断に基づいております。実際の業績については様々な要因により、見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。

・当資料の金額は、四捨五入して表示しているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

TOYO SUISAN 東洋水産株式会社